



無茶ぶりにもめげず、楽しんで発表する生徒会執行部の面々。すごい生徒たちです。

# 3D決まる！

3Dとは、「誇れる北中」の実現」のサブテーマのことです。昨年の学校教育目標が「『誇れる北中』の実現」

「チャンスチャレンジチェンジ」(Chance Challenge Change)の3Cでしたので、今年は一歩進んで3Dというわけです。「D」から始まる言葉三つをサブテーマに据えようと考えました。自分で考えて、若干の安直さも感じつつも、前号でお伝えした目指す学校像「全員参画の学校」のために、生徒・職員みんなで考えてほしいと思えました。私は安直で他力本願な人間なのです。

結果、応募総数約四〇〇以上！非常にたくさんDから始まる言葉が、その言葉に込めた思いと共に寄せられました。生徒の半数以上が3D決めに主体的に関わってくれました。私が3Dを募集すると伝えたと同時に、あれこれ考えただけで、まとまらずに応募するまでには至らなかつた生徒もいるはずですから、実数はもっと多いと思います。そう、私はやはり前回以上に考える人間なのです。一名の職員の応募ももちろん感謝しています。応募してもらったDから始まる多くの言葉を整理し、生徒会執行部の意見も参考に3Dを決めました。

「できる！だれでも！どこまでも！」



これは一年五組の七班(松島さん、古澤さん、松永さん、古庄さん)が考えた3Dです。簡単に実にはわかりやすく、「『誇れる北中』の実現」はおろか、目指す「全員参画の学校」「明るくあいさつできる生徒」「主体的で前向きな教師」の三つにも関わる言葉です。一目で惚れ込みました。

二十一日(火)の四校時に体育大会の結団式がありましたので、そこで生徒会執行部にお披露目を頼みました。前日に頼む無茶ぶりにも関わらず、頼んだ後の数分間で打合せを行い、「ドラえもん」をモチーフにして印象的な発表をしてくれました。わずか一夜にしてシナリオや小道具まで用意し、リハーサルもそこそこに、自らが楽しんで発表してくれた生徒会執行部のメンバーに敬意と感謝を表します。そして、これからのより良い北中をイメージして「D」で始まる言葉を考え抜いてくれた生徒の皆さんにも深く感謝します。

3DのDのD、だれでも、どこまでもできる！信じて、学校へへの参画する北中を全生徒・職員が目指していきます。